

福井県民の将来ビジョン 地区別意見交換会まとめ〔子育て・女性〕

地区 テーマ	奥越	若狭	二州（敦賀市、美浜町）	坂井地区および永平寺町	丹南	福井
人づくり	<p>○学力・体力全国トップクラスの維持やキャリア教育の推進により競争原理が働くことが危惧される。競争が教育の第一義でなく、結果としてトップクラスであって欲しい。</p> <p>○人づくりは画一的なものでなく、地域性を活かした学力・体力の伸ばし方が必要。</p> <p>○コミュニケーション手段としての外国人による語学教育を進めるべき。特に今後成長が見込まれる中国、韓国等、東アジアの言語が大事。</p> <p>○各家族化や共働き世帯の増加により家庭における子どもへの躰が疎かになっている。地域で子どもを育てる仕組みが必要。</p>	<p>○若者の都市への流出は、専門教育の場が無いことも理由の一つ。対策を講じるべき。</p> <p>○今は個人の幸福だけを追求して、社会のことを考えない人が多い。個人の幸福のみならず、社会のことを考える人づくりが重要。</p>	<p>○人づくりは子どもの頃から取組んでいかなければならない。家庭における子どもへのしつけや親のあり方が重要。</p> <p>○子どもの頃からの食生活習慣を身に付けることが重要でそれは家庭の役目である。</p> <p>○将来に夢を持つ子どもが増えるとよい。そのためには、子どもたちが目標を持てる地域、人の例があるとよい。</p> <p>○人づくりに関しては、いい意味での田舎化が必要。その時、将来の発展と矛盾しないようなバランスが必要。</p>	<p>○人にランクを付けることは一面的な活力になるが、挫折、落ちこぼれなどが危惧される。若い人が活力を失わず、相対的に幸せになる目標があるとよい。</p> <p>○人づくりに関しては競争を推進すべき。競争で育った力強い子どもが福井を引っ張る人材になる。</p> <p>○社会においてはコミュニケーション能力が非常に重要。その形成には部活動や青壮年活動が有効。</p> <p>○あわら温泉ではインバウンドのことを考慮すると中国語の授業など、特色ある教育を推進すべき。</p>	<p>○子どもたちが故郷のことをよく知らないで大きくなっている。学校、家庭において体験を通じたふるさと教育を実践するとよい。</p> <p>○福井県人は、学力は高いが議論、討論ができない。リーダーシップ、企画力、指導力を育む教育体制づくりを推進すべき。</p> <p>○地場産業、地域産業を取り入れたふるさと教育が小学校で盛んに行われている。同様に中学校でも推進して欲しい。</p> <p>○人づくりの根幹は、どう他人に「思いやり」のある人間を育てるかである。家庭、学校で「思いやり」について教育すべき。</p>	<p>○データによると特に中学生が地域に支えられ、地域の温かさに育てられたと実感している。福祉教育を推進すべき。</p> <p>○学力と仕事の能力が一致していないと感じる。学力が実社会で生きる教育システムを構築すべき。</p> <p>○情報、技術がオープンになり、過去の蓄積だけでは今後活躍していけない。国の産業政策に合わせ、英語、コンピュータ等のキャリア教育に力を入れていくべき。</p>
元気なコミュニティづくり	<p>○共働きを支える女性の負担を軽減するために、男女共同参画を進める必要がある。</p>	<p>○三世代同居は女性の精神的な負担が大きいのではないかと危惧する。このことを念頭に三世代同居を推進するべき。</p>		<p>○地域の活性化には、人口増加が第一条件になると考える。三世代同居の高さを維持しつつ、子どもを多く産める政策を推進するとよい。</p> <p>○子育て日本一は女性の負担、犠牲の上で成り立っているのではないか。良い指標を出すのはいいが、現場はフラフラではないか。本当に底力があるのか点検していかなければならない。</p> <p>○男性の子育てへの参加がもっと浸透していくとよい。</p> <p>○放課後児童クラブの定員を拡充して欲しい。</p>	<p>○お母さんの元気が地域の力になっている。お母さんの心をどう掴んで契機にしていくかが元気なコミュニティづくりにとって重要。</p> <p>○働く母親にとって、「子どもが病気になった時に誰に看てもらおうのだろう」という状況が必ずある。病児保育制度の整備を推進するべき。</p>	<p>○働くお母さんは、子どもの世話や家事に手一杯である。仕事と子育てに悩んでいるお母さんが多く、お父さんのサポートが必要。</p>
環境		<p>○情操教育があつての環境であると思う。物を大事にする、無駄使いはしないということをもう一度教育でしっかりと行うことは、コミュニティづくりや人格形成にも良いこと。</p>		<p>○環境を良くするためにマイナス成長を受入れる社会を構築するのであれば、高度経済成長を景観した世代は、急に対応できないので、長いスパンの中で環境教育を取り入れシフトしていく必要がある。</p>		
まちづくり		<p>○祭りがある地域には人が育ち、活気のある地域に育った子どもは、将来、客を連れてきたり、戻ってくる。まちづくり（祭り等）を通じた人づくりを実践するべきである。</p>				
産業					<p>○若者が福井に帰ってこないのは、大きな産業が欠けているからである。優秀な人材が育つ産業、優秀な人材を活かせる産業の誘致を進めるべき。</p>	